

平成 29 年 10 月 13 日  
株式会社日本政策金融公庫  
大 津 支 店

## 近畿初！外国籍の新規就農者に融資

～イチゴ農家の経営を継承するブラジル出身女性を青年等就農資金で支援～

日本政策金融公庫（略称：日本公庫）大津支店農林水産事業は、ブラジル出身の ERA DE OLIVEIRA LILIA KIMIE エラデ・オリベイラ・リリア・キミエさんに、近畿で初めて外国籍の女性経営者として青年等就農資金を融資しました。

### 《ポイント》

#### ○ブラジルから日本へ

キミエさんは、ブラジル生まれの日系二世。ブラジルの実家はコーヒー農園と肉用牛を飼養する農家で、子供の頃から農業に慣れ親しんできました。平成9年に来日し、3年間東京で働きました。その後一時帰国するも、日本の文化や風土に惹かれ日本への移住を決意し、家族で再び来日。生計を立てるために働いていました。

転機は、高齢夫婦 2 人だけで『高野農園』を切り盛りしていた高野さんと出会った平成19年。キミエさんは、イチゴなどを栽培する高野さんの下でお手伝いを始めましたが、気づいた時には農業に夢中になっていました。

日中は農業、夜は会社で夜勤というハードスケジュールをこなし、日本の農業について勉強しました。その努力を惜しまないひたむきな姿勢は、地元から信頼を得ることにつながり、また、高野さんや竜王町の方々の温かさにより、地元で農業をして暮したいという想いを強くしていきます。

#### ○地元の後押しを受けて経営者へ

平成28年、高野さんから『高野農園』の後を継がないかと誘われたことを受け、勤務していた会社を退職し農業に専念することを決意。東近江農業普及指導センターからの技術指導など地元の後押しを受け、さらに嬉しいことに周辺の農家からも農地を託されたことから、イチゴの増産を目指しイチゴ栽培ハウスの建設を計画。日本公庫は、キミエさんの生産技術の習得状況や農業経営への意欲の高さなどから計画達成の見通しが高いことを評価し、青年等就農資金 1,000 万円を融資しました。

農業経営者としてスタートを切ったキミエさんは、「皆さんの温かさに感謝している。手を抜かず、安全でおいしいイチゴを提供し、皆さんを喜ばせたい。」

と語っています。

日本公庫は、県や市町などの関係機関と連携しながら、本資金の融資を通じて、農業の新たな担い手の育成・定着を支援してまいります。

#### 【融資先の概要】

氏名	<b>ERA DE OLIVEIRA LILIA KIMIE</b> (エラデ・オリベイラ・リリア・キミエ)
住所	滋賀県蒲生郡竜王町
年齢	48歳
営農類型	施設野菜、イチゴ
事業内容	イチゴ用ハウス建設

(キミエさんが栽培するイチゴ)



(キミエ夫妻と高野さん)

